

《保護者アンケート結果より》

本年度、保護者のみなさまには、10項目についてアンケートを実施させていただきました。「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の今年度の平均値は89.1%となり、昨年度に引き続き、ほぼ9割の方に肯定的な回答をいただきました。

「③お子さんは、授業がわかりやすいと話している。」では、ここ数年いずれも9割を超えています。本校では、「学び合い」を取り入れ、ペアやグループで分からないところを明らかにし、友だちの考えと比較して考えたり深めたりする学習の研究を進めています。学習のいろいろな場面で友だちと考えを聴き合ったり、伝えたりする習慣が少しずつ定着してきました。「学び合い」を大切に、「何でも話せる友だち、先生、学級」という支持的な学級集団が形成され居心地の良い学校、学級に育ってほしいと考えています。

「④お子さんの規範意識は、身につけている。」「⑤お子さんは、命や人権を尊重する態度が身に付いてきた。」については、いずれもここ数年、高い傾向を維持しています。家庭でも、ルールを守り、命や人権、いじめなどの問題について話していただいている成果だと思います。学校でも、命の大切さや人権意識を高め、いじめを見抜き許さない力をつけるため、あらゆる教育活動で指導しています。たてわり活動、委員会によるイベント、手話、盲導犬などの福祉教育、地域ボランティアさんによる体験活動、キャリア教育、学生ボランティアさんの協力など、様々な趣向を凝らした教育活動を工夫しています。まもなく卒業式、「6年生を送る会」など、心温まる子どもたちの姿が見られる季節を迎えようとしています。

「⑥お子さんは、危険予測・回避能力が身に付いてきた。」では、平成26年度78%から昨年度89%、今年度は、86%になりました。自ら身を守る力をつけるため、不審者や道路の横断について気をつけるよう学校でも指導を続けています。ただし、立ち当番の方の誘導に頼り切ることなく、自分の目でも確かめるようご家庭でもお声かけください。また、最近はカラスによる被害も増えています。ご家庭でも折に触れ、お話しいたきますようお願いいたします。

「⑦お子さんは、本に親しみ進んで読書をするようになってきたと思われませんか。」では、昨年度は81%でしたが、今年度は76%とやや下降しました。「朝読書」や家庭学習としての読書、「さざなみ号」、「どんぐりさん」などにより、読書に親しむ環境は充実してきたと思います。家庭でも読書の時間を大切にいただき、たくさん本に親しんで、ますます豊かな心を育んでほしいと願っております。

「⑨運動会や音楽会など、子どもたちの発表の場を公開するようになってきました。その様子から子どもたちは生き生きと取り組んでいると思われませんか。」では、平成23年度から毎年95%を超える高い評価をいただき、今年度は99%でした。今後も参観や学校だより、通信、ホームページなどで子どもたちの様子をお知らせし、楽しくいきいきと学べる指導の工夫に努めてまいります。いただきましたご意見は、全教職員が受け止め、丁寧に対応していきます。お忙しい中ご回答をお寄せいただき誠にありがとうございました。